

令和5年度 学校評価報告書（実施結果）

視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (3月6日実施)	総合評価（4月1日実施）	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	<p>①新学習指導要領に基づく教育課程編成により、生徒の学習希望や社会への対応が可能な幅広い履修機会を提供するとともに、課題解決に向けた探究学習の充実を図り特色ある学校づくりを推進する。</p> <p>②生徒の主体的に学ぶ意欲を向上させ、各教科における確かな学力を高めるとともに、思考力・判断力・表現力を育む。</p>	<p>①ICTを活用した授業改善を実践し、生徒のニーズに応えられる質の高い授業が展開できるよう、職員全体が授業力向上に組織的に取り組む。</p> <p>②総合的な探究の時間等における探究活動の一層の深化を目指す。</p>	<p>①授業で活用できる様々なアプリの実践事例をもとに、研修できる機会を増やす。 ・年間を通じて職員相互の授業見学が自由にでき、意見の交換ができる機会を増やす。</p> <p>②新たな発見につながる深みある課題設定をさせるとともに、振り返りを通してその後のさらなる探究につなげる。</p>	<p>①ICTを活用した授業事例を、研修会を通して共有したり研鑽したりすることができたか。 ・年間を通して授業見学や職員相互の意見交換の機会が増やせることができたか。</p> <p>②深みある課題設定や振り返りにより、探究活動を充実させることができたか。</p>	<p>①ICTを活用した授業事例を学ぶ機会として授業見学期間を設けている。前期・後期と分けて授業見学し、互いに質の高い授業を目指して意見交換をした。しかし、職員全体が取り組む研修会の設定は十分ではなかった。</p> <p>②先行知識を獲得させた上でテーマ、課題を設定させるなど、探究活動を充実させることができた。</p>	<p>①他者がどのような形でICTを利用した授業展開をしているかなど広く学ぶ意識を全体で高めていく。また、授業見学報告書や意見交換などを踏まえ、生徒の授業評価アンケートの結果ともリンクさせて教科会等で共有し、授業改善につなげる。</p> <p>②振り返りを十分にを行うことができなかったため、その機会の確保と内容の充実を図る。</p>	<p>①一人一台端末導入により、ICT活用が活発に行われており、思考・判断・表現の力が育まれ、深い学びが定着してきているように思われる。</p> <p>②総合的な探究の時間での探究活動が生徒に定着してきた。SDGsに絡めた課題設定もよい。</p>	<p>①新学習指導要領に基づく教育課程が2年目を迎えた。観点を3観点に整理し、単元計画を整備し、生徒に身に付けさせたい学力や毎時の授業目標を明確にして授業を行った。特に、ICTを活用して授業を展開し、グループ学習・発表・討論などの場面を重視し、思考力・判断力・表現力を育成した。今後は、一人一台端末を活用した授業力が高めるための職員研修を更に充実させる必要がある。</p> <p>②探究活動にあたり、深みのある課題設定をするための時間と環境を提供できた一方、活動の振り返りの機会を十分に設けることができなかった。</p>	<p>①昨年度に引き続き年間指導計画、単元計画の適正化を図り、深い学びにつながる質の高い授業づくりを進める必要がある。それを実現するために、ICT利活用に特化した職員研修の機会を増やし、研究授業、授業観察や相互授業見学などの年間計画を見直すとともに、職員の意識をより一層高め、組織的な授業改善を推進する。</p> <p>②振り返りの機会の確保とその内容の充実をはかり、探究活動の一層の深化をめざす。</p>
2 (幼児・児童・)生徒指導・支援	<p>①個に応じた相談体制を充実させ、安心して生活できるよう支援するとともに、生徒の社会性をさらに高める。</p> <p>②部活動や委員会活動を通じて、個々の生徒がその興味・関心を深め、より主体的で豊かな学校生活を送るよう支援する。</p>	<p>①SC、SSWが毎週配置されることで、カウンセリングを希望する生徒や保護者のニーズに応え、きめ細かい支援を展開していく。</p> <p>②部活動や委員会活動を通じて、集団活動の意義や活動を行う上で必要となることを理解し、主体的に社会参画する能力を身につけさせる。</p>	<p>①SC、SSWと教職員で連携をより一層密にしていくことにより、生徒を支援する体制を拡充していく。また、研修会を行い教職員の生徒対応のスキルアップを図る。</p> <p>②部活動や委員会の活動計画や運営方法等を生徒自身が思考・判断し、実践できる場を設ける。</p>	<p>①SC、SSWの配置が増えたことで、悩みを抱える生徒や保護者への対応が適切に支援できたか。また、研修会のフィードバックを行い職員自身がスキルアップを確認できたか。</p> <p>②部活動や委員会活動を通じて、集団活動の意義を理解することができたことを生かし、実践することができたか。</p>	<p>①かながわ子どもサポートドック等の様々な場面や機会でもSC、SSWと連携を図りながら、カウンセリングを希望する生徒や保護者のニーズに応え、きめ細かい支援を展開している。</p> <p>②部活動や委員会活動を通じて、集団活動の意義や活動を行う上で必要となることを理解している。</p>	<p>①教職員対象の研修会を実施したが、今後も生徒支援情報や研修で得た成果を共有し、生徒支援に係る教職員のスキルアップを図る。</p> <p>②部活動や委員会活動を通じて理解できたことを生かせるよう、実践できる場の充実を図る。</p>	<p>①かながわ子どもサポートドック等を通して、課題を抱える生徒への支援体制が確立されてきた。情報共有やSC、SSW等との連携が今後大切になる。</p> <p>②部活動では、対外試合等の成果を上げることができており、活発に部活動が行われている。更なる活躍を期待する。</p>	<p>①毎週配置になったSC・SSWのカウンセリングを生徒・保護者のニーズを把握しながら運営することができた。また、かながわ子どもサポートドックの実施により、生徒の状態を把握し、支援が必要な場合にはSC、SSWへつなげることができた。SC、SSWとはより一層スムーズな連携を推進していく。</p> <p>②部活動や委員会活動を通じて、集団活動の意義や活動を行う上で必要となることを理解させることができた。また、体育祭や文化祭では概ね生徒主体で計画・運営させることができた。今後は部活動においても生徒主体の活動となるよう支援する必要がある。</p>	<p>①教職員とSC、SSWとの連携を強化する。また、研修会の実施等により生徒支援の情報を共有することで、教職員の生徒支援に係るスキルアップを図る。</p> <p>②部活動や委員会活動を通じて理解できたことを生かせるよう、実践できる場の充実を図っていく。また、教職員へは生徒に「指示する」だけではなく「支援する」という意識で指導できるよう促していく。</p>
3 進路指導・支援	<p>キャリアガイダンスを充実させ、生徒一人ひとりが自らの意志と責任の下によりよい選択をするための力を身につけるよう支援する。</p>	<p>・個々のキャリアデザインに基づく揺るぎない目標を持たせ、進路実現を支援する。</p>	<p>・ガイダンス等を通して自己理解を促し、大学名にとらわれず、本当にやりたいことに目を向けさせる。</p>	<p>・個々の生徒が思い描くキャリアデザインに基づいて進路を実現させることができたか。</p>	<p>・ガイダンス等を通して個々のキャリアデザインに基づく目標を持たせ、進路実現を支援した。</p>	<p>・引き続き個々のキャリアデザインに基づく高い目標を持たせるとともに、新課程入試に関する情報を効果的に配信し、進路実現を目指すことができる環境づくりに注力する。</p>	<p>①総合的な探究の時間のポスターセッションには是非参加したい。</p> <p>②「入れる大学」より「入りたい大学」を生徒が目指すように指導して欲しい。</p>	<p>②ガイダンス等を通して個々のキャリアデザインに基づく揺るぎない目標を継続的に持たせることで、進路実現を支援した。</p>	<p>②引き続き進路実現を目指すことができる環境づくりに注力する。</p>

視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (3月6日実施)	総合評価(4月1日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
4 地域等との協働	<p>広く情報発信を行うとともに、地域等との協働を生徒・教職員が積極的に進めることで、開かれた学校づくりを推進する。</p>	<p>①学校ホームページの有効活用を考え、体裁を整え、見やすく最新情報を発信できるように更新して行く。</p> <p>②公開講座や地域清掃、座間市や近隣地域と協力した防災訓練を通じて、地域との協働を進め、生徒が主体的・対話的で深い学びを通して効果的な防災訓練を実施できるように支援する。</p>	<p>①・各グループ等への働きかけを丁寧に行い、更新作業が円滑にできるようにする。</p> <p>・学校行事等学校の取組みをホームページを通じて公開する。</p> <p>②・公開講座を地域防災と関連付け多様な災害への対応と一緒に考え、昨年より早く広くWEBなどを利用して呼び掛ける。</p> <p>・防災・美化委員会を中心として、地域の一員としての自覚を持ち、主体的に地域と意見交換を通して、協働体制を構築する。</p> <p>・地域の自治会等に呼び掛け、防災に関する合同会議等を実施し、意見交換を行い防災上の課題を共有・検討・改善をしていく。</p>	<p>①・各グループや部活顧問に積極的に発信を促し、レイアウト等も見やすくなったか。</p> <p>・学校行事を地域にも周知して一緒に取り組める体制を構築できたか。</p> <p>②・昨年より早く広くWEBなどを利用して呼び掛け、地域防災に関する公開講座を地域住民の理解と協力のもと開催することができたか。</p> <p>・防災・美化委員会を中心として、地域の一員としての自覚を持ち、主体的に地域と意見交換を通して、協働体制を構築することができたか。</p> <p>・地域の自治会等に呼び掛け、防災に関する合同会議等を実施し、意見交換を行い防災上の課題を共有・検討・改善をしていくことができたか。</p>	<p>①・6月にホームページ更新講習会を実施したことで、部活動など生徒の活動についての発信は例年よりも早まった。</p> <p>・学校行事予定の連絡はできているが取組み状況の報告が思うようになっていない。</p> <p>②・昨年より早く且つ広くWEBなどを利用して呼び掛け、地域住民の理解と協力のもとで地域防災に関する公開講座を開催することができた。</p> <p>・防災・美化委員会を中心として、地域の一員としての自覚を持ち、主体的に地域と意見交換することで、協働体制を構築することができた。</p> <p>・地域の自治会等に呼び掛け、防災に関する合同会議等を実施し、意見交換を行い防災上の課題について共有するとともに検討し、改善していくことができた。</p>	<p>①・文化部など大会が少ない部の更新が少ないことが気になるので更新を促す声掛けが必要である。</p> <p>・貸出カメラの操作に慣れるなどして見栄えのする写真記録を残せるようにする。</p> <p>②自分たちがリーダーシップをとり地域防災を担当するという自覚を促し、生徒が主体的に地域住民と意見交換をしたり合同会議等を行ったりするような機会を設定するように支援していく。それを通して、防災上の課題について共有するとともに検討し、改善していく。</p>	<p>①自治会としては、コロナ禍の影響で3年間活動することができなかった。また、高齢者が多く、地域には元気がなくなってしまったので、防災訓練などで学校との関わりを復活させたい。</p> <p>②PTAが参加、協力することが行事などを適時知らせてほしい。また、活発な部の活動を見学したい。</p>	<p>①・多くの部活動で更新が早まる等、早い時期で講習会を実施した効果が出たように思われるので、次年度も講習会を早い時期に設定して操作に慣れてもらえるようにする。</p> <p>・学校行事など学校の取組みをアピールできるものは早めに更新する必要もあるが、写真などをうまく活用して状況がわかるものにしたい。</p> <p>②・昨年より早く且つ広くWEBなどを利用して呼び掛け、地域防災に関する公開講座を地域住民の理解と協力のもと開催することができた。</p> <p>・防災・美化委員会を中心として、地域の一員としての自覚を持ち、主体的に地域と意見交換することで、協働体制を構築することができた。</p> <p>③・地域の自治会等に呼び掛け、防災に関する合同会議等を実施し、意見交換を行いながら防災上の課題について共有するとともに検討し、改善していくことができた。</p>	<p>①・活動報告の少ない部活動に関しては、日々の活動状況などで構わないので配信してもらえるよう声掛けが必要である。</p> <p>・学校行事については、どのグループがどの行事を担当するのかを明確にして、企画だけでなく記録撮影なども含め、ホームページにアップするまでを一連の業務として位置付ける。</p> <p>②生徒が主体的に地域住民と意見交換したりする場や合同会議等を行ったりするような機会を設定するように支援していく。それを通して、防災上の課題について共有するとともに検討し、改善していく。</p>
5 学校管理 学校運営	<p>①事故・不祥事の防止を徹底するとともに、安心・安全な学校づくりを組織的に行う。</p> <p>②働き方改革に合わせ、教育活動における効率的・合理的な働き方を研究・推進する。</p>	<p>①私費会計業務や生徒等の個人情報等に関する不祥事防止に重点を置き、組織的な取り組みを行う。</p> <p>②出退勤時間の管理と働き方改革の観点からの業務改善を進める。</p>	<p>①私費会計業務及び個人情報等に関する定期点検と職員研修を実施する。</p> <p>②衛生委員会において、業務改善に関する検討を行う。</p>	<p>①私費会計業務及び個人情報等に関する定期点検と職員研修を実施し、不祥事を防いだか。</p> <p>②業務改善に向けた取組みを行ったか。</p>	<p>①私費会計担当者会議を前期に2回実施した。また、不祥事防止職員研修を11月に講師を招き実施する予定である。</p> <p>②休暇等の取得促進、教材研究、成績処理、グループ業務などにおける電子データの共有により、業務改善は進んでいる。</p>	<p>①教育用端末管理簿、外部記憶媒体管理簿、記録媒体廃棄簿を作成し、情報セキュリティ体制の精度を上げる。</p> <p>②職員の時間外勤務削減に関しては、決め手となる取組みを本校独自で実施することが難しい状況にある。今後も継続して、研究する必要がある。</p>	<p>①情報セキュリティの点検等がなされており、不祥事の防止につながっている。</p> <p>②働き方改革を進める必要がある。業務改善に向けた取組みも必要である。</p>	<p>①情報セキュリティ監査により、不祥事の未然防止の体制が整っていることを確認することができた。</p> <p>②組織的な授業改善を推進し、教科指導に係る勤務時間の削減を目指した。また、部活動顧問の負担を複数顧問でシェアすることや、年休取得を呼び掛けることなどを行った。</p>	<p>①情報セキュリティに関する管理簿等を正確に更新する必要がある。</p> <p>②働き方改革の決め手となる方策を定めることができなかった。少しずつでも改善を進める必要がある。</p>

